



小型カメラによる撮影 ～児童目線の交通安全教室～

【笛吹市立御坂西小学校】



いつも利用する通学路の危険をリアルな動画で改めて確認

通学路の危険を“リアルな映像”で再確認

5月12日（月）、御坂西小学校体育館にて5、6年生の児童が交通安全教室に参加しました。笛吹警察署の方が来校し、交通安全についての説明が行われました。今回の教室では、実際に児童目線で撮影した通学路の映像が使用されました。映像には、急に車が現れたり、大型ダンプが児童のすぐそばを通過したりする様子など、日常的に潜む危険な場面が多数映し出されていました。児童たちは、自分たちが毎日通る通学路を映像で客観的に見ることで、改めて安全の大切さを考える良い機会となりました。

映像教材の使用で交通安全教育に新たな視点

この映像は、6人の児童の頭やランドセルに小型カメラを装着し、実際の通学風景を撮影したものです。警察署・PTA・地域団体が連携し、子ども目線でリアルに捉えた交通安全教材を作成しました。これまでの交通安全教材は大人目線のものを中心であり、児童自身の視点から通学路を見つめ直す機会はいほとんどありませんでした。今回の取り組みは、ICTを活用した新たな安全教育の形として大きな意義があり、今後の活用が期待されます。また、当日にはこの映像を編集した前PTA会長に対し、笛吹警察署長から感謝状が贈呈され、地元メディアからも注目を集めました。

安全教室後には集団下校で実地確認

安全教室終了後には、児童全員が集団下校を行い、実際の通学路で安全を再確認しました。今後も地域・学校・家庭が連携し、児童の安全を守る取り組みが一層進むことが期待されます。



笛吹署から感謝状（メディアからも注目）



安全教室後の集団下校で更に確認

人権について学び、空を見上げて笑顔に！～人権の花運動・万灯プロジェクト～【甲州市立塩山南小学校】



児童みんなでいじめを真剣に考える

5月21日（水）、甲州市人権擁護委員による「人権の花」贈呈式と人権教室、バルーンリリースが行われました。

大空を見上げた児童たちには笑顔があふれました

人権教室は、5・6年生を対象に開催され、「すべての人が幸せに生きる権利」について学びました。授業では「いじめ」について真剣に考える時間も設けられ、児童たちは人権の大切さを改めて実感していました。また、当日は全校児童がグラウンドに集合し、児童がメッセージを書き込んだカードと花の種を取り付けたバルーンを一斉に空へ放つ「バルーンリリース」も行われました。

空には笑顔のマークも！

空には笑顔のマークも！

さらに、この特別な日に塩山南小学校の上空には、小型飛行機で直径1kmの「ニコちゃんマーク」が描かれました。



人KEN あゆみちゃんは人気

これは「Fly for ALL #大空を見上げよう」プロジェクトの一環で、アジア人初の世界チャンピオンとなったパイロットによるもので、全国150カ所以上、山梨県内では10カ所で実施されている活動です。「日常の中で空を見上げるきっかけをつくりたい。空を見上げることで、笑顔と元気を届けたい」——そんな想いが込められたこの取り組みは、バルーンとともに子どもたちの心にしっかりと刻まれたことでしょう。当日は、子どもたちの明るい笑顔と、青空に広がる風船、そして空に描かれた大きな笑顔がひとつになり、心温まる時間となりました。



大空を見上げた児童には笑顔がいっぱい

みんなの駅を自分たちの手で ～勝沼ぶどう郷駅清掃～

【甲州市立菱山小学校】

地域を思う心で清掃活動

5月26日（月）、3、4年生の児童たちが、JR 勝沼ぶどう郷駅周辺の清掃活動を行いました。この駅は、甚六桜の季節やぶどう狩りの時期を中心に、年間を通して多くの観光客が訪れる場所です。訪れる方を気持ちよく迎えるためだけでなく、自分たちの暮らす地域を自分たちの手で美しくすることを通して、子どもたちは地域への思いと誇りを育んでいます。



塩山駅長さんより感謝状を受け取る

長年の取り組みに感謝状

この勝沼駅の清掃活動は、菱山小学校が長年にわたって続けてきた伝統ある行事です。当日はその功績が認められ、清掃活動の開始前に行われた会で、勝沼ぶどう郷駅を管理する塩山駅長より学校に感謝状が贈られました。

テキパキと清掃、誇らしげな笑顔

当日は、

駅前のごみ拾いや掃き掃除、花壇の草取りなどを駅長さんや駅員さんと一緒に行いました。児童たちは一人ひとりがテキパキと丁寧に作業を進め、与えられた仕事だけでなく、自ら気づいた場所の清掃や、友達への声かけ・手伝いなど、主体的に取り組む姿が印象的でした。清掃後、きれいになった駅前を見た児童たちは、達成感と喜びに満ちた明るい笑顔を見せてくれました。



協力して掃き掃除



大きな草がとれると歓声が



地域の思い、子どもたちに届く～農作業を通じた世代間交流～

【笛吹市立富士見小学校】

地域とともに苗植え体験

5月27日（火）、3年生41人と河内区民約30人が参加し、大豆とサツマイモの苗植えを行いました。これは石和町河内地区の住民が初めて企画したもので、子どもたちが授業（総合的な学習の時間）で活動できるように、地区内の休耕地を再生するなど準備をしてくださいました。当日は天候にも恵まれ、にぎやかで和やかな雰囲気の中で作業が進みました。



一緒に作業することは楽しい



教える、教わる喜びが溢れる

子どもたちの学びと笑顔

畑の管理は地域の方々が担っており、除草や水やりなども定期的に行ってくださいしています。畑の様子は定期的に写真付きで学校に報告され、子どもたちの関心を高めています。当日は、子どもたちから「やさしく教えてもらった」「さつまいもを焼いて食べたい」といった声が聞かれ、土に触れながらの体験を楽しんでいました。

地域と子どもがつながる場に

住民の方からは、「地域と子どもの関わりが少なくなっていることが心配。こうした活動でつながりが深まればうれしい」「この地域を愛し、守っていける大人に育ってほしい」との声がありました。地域の積極的な協力により学校側の負担も少なく、教員からも感謝の声が上がっています。今後も継続して取り組み、地域と子どもたちが共に成長していく機会として広がっていくことが期待されます。



地域と子どもたちの和が広がった

× × × × × × × ×

峡東教育事務所からのお知らせ

× × × × × × × ×

『 峡地連 子育て講演会 』

日 時 令和7年8月26日（火） 15:00～17:00
会 場 山梨市民会館 ホール
内 容 本と人とつながりと：子どもの世界が広がるメディア活用
講 師 山梨大学 教授 秋山麻実 氏
共 催 山梨市教育委員会

お申込は
QR または URL から

申込み×切
8/12(火)



<https://forms.office.com/r/CWert9KLG3>

保護者、地域の方々の声援響く ～東山梨地区、笛吹市小学校陸上記録会～

令和7年度の峡東地区小学校陸上記録会が行われました。児童たちは日頃の練習の成果を発揮し、自己ベストの更新を目指して力いっぱい競技に臨みました。

＜東山梨地区＞5月20日（火）塩山総合グラウンド



＜笛吹地区＞6月13日（金）JIT リサイクルインクススタジアム（小瀬スポーツ公園）



学校対抗の競技では、仲間同士で声をかけ合い応援し、絆をより一層深める様子が見られました。また、各競技では他校の児童の記録にも拍手を送り、互いに称え合い励まし合う姿が多くで見られました。同じ地域で学ぶ仲間として競い合いながらも心を通わせ、新たな友情が芽生える貴重な機会となりました。

今回の記録会は、校外での開催となったこともあり、多くの地域住民や保護者が会場に足を運びました。両会場には、子どもたちへの力強い声援が響き渡り、わが子だけでなく地域の子どもの成長した姿を見て、目を細める大人たちの姿がありました。地域全体で子どもたちを支え、見守る温かい空気が、競技場を包んでいました。



「楽しみにしていました」と、大人たちのうれしそうな表情が印象的でした

地域の方に感謝を伝える ～地域鉢花配布～

【笛吹市立芦川小学校】



鉢花づくりに挑戦！

6月16日（月）、芦川小学校では地域の方々への感謝の気持ちを込めて、全校児童で恒例の鉢花づくりを行いました。各学年に分かれて作業を開始し、色合いや大きさ、バランスを考えたが一つ一つ丁寧に植えていきました。「感謝を伝えるには、この花の色がいいね」と、友達同士で楽しそうに話しながら花を植える姿が印象的で、学校全体が温かい雰囲気になっていました。学年の垣根を越えて協力し合う姿から、子どもたちの真剣さと優しさが伝わってきました。

感謝を込めて配布

6月20日（金）には、完成した鉢花を地域の方々に配布しました。郵便局、芦川支所、駐在所、商店など、地域の方々が日常的に利用する場所へ足を運び、子どもたちが直接花を届けました。

地域とともに育つ子どもたち

芦川小学校の子どもたちは、日頃から地域の方々との関わりを大切にしています。「地域の子どもたちを地域で育てよう」という思いは、確実に子どもたちの心に届いています。これからも地域との温かい絆を大切に、感謝の気持ちを行動で表していくことができる子どもたちに育ててほしいと思います。



お世話になっている地域の方に花と笑顔を届けました



水の大切さを知り、考える ～サントリー「水育」出張授業～

【山梨市立カ納岩小学校】

専門講師による「水育」出張授業



森と水のつながりを理解し、水について考え話し合う



5月29日（木）サントリーホールディングス株式会社の水の専門講師による「水育」出張授業が行われ、4年生の児童が学習しました。

このプログラムは、子どもたちに水の大切さを伝えることを目的に、2004年からサントリーが実施している次世代環境教育活動です。自然体験型の「森と水の学校」と、教室で実施される「出張授業」

（2006年開始）の2本柱で構成されており、県内でもすでに多くの学校で行われています。

主体的に学ぶ「水の授業」

授業では、実際に体験したり、自分の言葉で考えを表現したり、他者の意見を聞いて考えるなど、「主体的な学び」が実践されていました。水育は、子どもたちに「自然のすばらしさ」「水を育む森の働き」「水を守る大切さ」を伝え、未来のために自分たちに何ができるのかを共に考えることを目的としています。

体験格差をなくし、未来への力に

この取り組みは、“こどもの体験格差解消プラットフォーム”としても注目されています。子どもたちに多様な体験の機会を提供することで、学びへの意欲や夢を育むことを目指しています。

さらに、校外では自然の中で学べる「森と水の学校」も展開されており、子どもたちが社会に関心を持ち、未来に向かって挑戦する力を育んでいます。

企業と学校、家庭、地域が連携することで、子どもたちの学びがより豊かになります。興味のある方は、インターネットなどで関連活動を調べてみると、子どもたちにとって新たな学びの機会が得られるかもしれません。



森のはたらきを実験装置で体験

読書によるひろがり ～読書表彰～

【笛吹市立石和北小学校、山梨市立山梨南中学校】



どの児童も真剣な表情で読書が進む

峡東地区から2校が文部科学大臣表彰を受賞

子どもの読書活動優秀実践校として、峡東地区から笛吹市立石和北小学校と山梨市立山梨南中学校の2校が、文部科学大臣表彰を受賞しました。この表彰は、子どもの読書活動への関心と理解を深めるとともに、積極的な読書活動を促進することを目的に、特色ある優れた実践を行っている学校を対象として

ています。令和7年度の受賞校は、全国で幼稚園35園、小学校57校、中学校37校。山梨県内では1園3校が選ばれ、そのうち2校が峡東地区からの受賞という快挙となりました。これは、長年にわたり地域一体となって取り組んできた峡東地域の読書活動が高く評価された結果と言えるでしょう。

石和北小学校：家庭と連携した読書推進



時間後半には、先生の読み聞かせです

石和北小学校では、「朝読書」で1日をスタートさせ、月に1回は各クラスで国語の授業内に読書時間を設けるなど、読書を生活に根づかせる工夫がなされています。また、PTAと連携した「親子読書」も実施されており、家庭でのコミュニケーションの機会としても読書が大切にされています。「チャレンジ読書カード」など、読書のきっかけとなる仕組みも導入されており、これは市内の学校司書との連携によって進められています。どの本を読んだら良いかわからない場合や本を選択するヒントなどを得られる、良きナビゲーターとなっています。

山梨南中学校：図書委員が中心の主体的な活動

山梨南中学校では、図書委員会を中心に読書活動が活発に行われています。昼休みには、多くの生徒が図書室に足を運び、本の返却や貸し出しを自主的に行う様子が見られました。図書室では、自分の趣味や関心に合った本を探す生徒の姿や、友達と楽しそうに本を開く姿が印象的です。生徒たちが読書に親しむ日常が、自然に広がっています。

継続と声かけが読書意欲を育む

両校に共通しているのは、児童・生徒の読書意欲を引き出すための工夫があるところです。また、日常的な教師の声かけや家庭での関わりが大きな役割を果たしていると感じました。学校・家庭・地域が一体となって取り組むことが、子どもたちの豊かな読書環境づくりにつながっているのです。



いろいろな本に興味を持って探す中学生



図書委員がテキパキと仕事をこなす

日頃の練習の成果を発揮して

～東山梨、笛吹市中学校総合体育大会～



令和7年度の「中学校総合体育大会」が6月4日に東山梨地区、6日に笛吹市でそれぞれ開催されました。多くの保護者、地域の方が会場に訪れ、声援が響きわたっていました。地域の子どもを地域で育てる、まさに理想の光景です。

【団体競技 優勝校（地区別）】

種目	東山梨		笛吹市	
	男子	女子	男子	女子
野 球	山梨南	—	春日居・浅川	—
サッカー	山梨南	—	石和	—
ソフトボール	—	山梨北	—	—
バスケットボール	山梨北	山梨南	春日居	御坂
バレーボール	塩山	塩山	浅川	石和
卓 球	山梨南	塩山	浅川	春日居
ソフトテニス	山梨北	山梨北	石和	浅川
剣 道	山梨北	塩山	浅川	石和
柔 道	（個人戦のみ）	（個人戦のみ）	（個人戦のみ）	（個人戦のみ）
ハンドボール	山梨北	塩山	—	—
弓 道	—	—	石和 A	石和 A
バドミントン	（個人戦のみ）	（個人戦のみ）	—	—



戦争体験者から学ぶ ～松里探求プロジェクト～

【甲州市立松里中学校】

放光寺での学びと長老さんの想い

6月19日（木）、松里中全校生徒で学区内の放光寺を訪れ、長老さんから戦争体験のお話を伺いました。これは探求プロジェクトの平和学習の一環で、戦争を実際に経験された方から「生の声」を聞き、その悲惨さと命の尊さを学び、次の世代に伝えていくことを目的としています。終戦から80年が経ち、戦争体験者の高齢化が進む中、このような機会はますます貴重なものになっています。講師を務めてくださった長老さんは翌月には90歳を迎えられるとのことでしたが、「子どもたちに戦争の悲惨さは勿論、ふるさとの良さも伝えたい」という強い想いから引き受けてくださったそうです。

戦時中の暮らしと今を比べて

講話では、戦時中の地域の風景や人々の暮らしぶりが、当時の記憶とともに生き生きと語られました。現在ではぶどうや桃の畑が広がるこの地域にも、かつては柿や栗の木が今より多く見られたこと、また食料不足で満足に食事ができなかったことなど、今の生活との違いに生徒たちは驚いていました。

スマートフォンやゲームなどに囲まれた現代と違い、自分たちで工夫して遊びを生み出す楽しさもあったと語られ、生徒たちは真剣な表情で聞き入っていました。今の自分たちの暮らしがどれだけ恵まれているか、平和な日々がいかに尊いかを改めて感じる機会となりました。

平和と地域への感謝を胸に

長老さんの言葉からは、「地域の子どもは地域で育てたい」という深い愛情と強い願いが伝わってきました。その想いは生徒一人ひとりの心に届き、地域の大切さや、平和の尊さについて考えるきっかけになったようです。この講話は、過去を学び、今を見つめ、未来につなげるための大切な時間となりました。



静寂な雰囲気心に落ち着く



メモをとり話を聞く



長老さんの熱い想いが伝わる

地域とともに10周年

【山梨県立高等支援学校桃花台学園】

～10周年記念式典・講演、マーケット、ローソンコラボ～

節目の10周年を厳かに祝う

5月28日(水)、多くの御来賓をお迎えし、桃花台学園体育館にて創立10周年記念式典が厳粛な雰囲気の中で執り行われました。生徒代表の石合生徒会長は、「先輩たちが築



全員参加の感動ライブ

いてきた伝統を大切にしながら、新たな時代を切り開いていく」と力強く誓い、今後のさらなる発展への期待が高まりました。式典後に行われた講演会では、校歌の作詞・作曲を手がけたシンガー



厳粛な雰囲気での10周年記念式典が挙行政

ソングライター神部冬馬さんによるトーク&ライブが開催されました。神部さんからは、生徒に向けた温かいメッセージや校歌制作時の思い出などが語られ、会場は笑顔と共感に包まれました。最後には全校生徒が参加するライブも行われ、大盛り上がりのステージとなりました。

地域に根ざした取り組みの成果

これまで桃花台学園は、地域に支えられながら、地域とともに歩んできました。その姿勢は地域からの信頼を育み、多くの卒業生が地域社会で活躍することに繋がっています。地域との繋がりを象徴する取り組みの一つである「桃花ダイスキマー



大盛況の桃花ダイスキマーケット

ケット」は現在も継続して開催されており、地域住民との交流の場として親しまれています。昨年度からは、株式会社ローソンとの共同企画によるコラボ商品開発にも取り組みました。そして生まれた商品「もも香るデニッシュ」は、関東甲信地区のローソン4,600店舗で5月27日から販売され、ヒット商品となり注目を集



めました。品切れとなっている店舗もあるほどの人気ぶりで、地域と連携した活動の成果が実を結んでいます。



知事によるコラボ商品の試食会

科学の楽しさ、不思議さを体験 ～山梨市子ども科学教室～

【山梨市教育委員会】

宇宙を学ぶ わくわく科学教室開催！

6月21日(土)、山梨北中学校体育館で、市内の小学生3～6年生17人が参加し、ロケットに関する実験や工作を通して宇宙について学びました。JAXA宇宙教育センターの教材も使いながら、子どもたちは楽しみながら科学の世界に触れました。

教育委員会と教員が協力して運営

科学教室は山梨市教育委員会が主催し、山梨市子ども科学教室支援委員会が共催しています。内容の企画や講師は、現役教員やOB教員が担い、年4回開催されます。当日は保護者の見学もあり、講師からは「手を出したくなりますが、見守ってあげてください」と声かけられました。わくわくとドキドキで目を輝かせながら楽しむ子どもたちの姿は、さまざまな場面で見られました。

自由な発想でロケットを発射！

宇宙飛行士の採用試験にチャレンジしたり、複数のロケット実験を体験したりしながら、最後は自分で作ったロケットを発射。わくわくとドキドキが詰まった時間の中で、目を輝かせて取り組む子どもたちの姿が多く見られました。



宇宙飛行士の採用試験にチャレンジ



自作のロケットを飛ばす



驚く実験ばかり